

テーマ：ドイツ語検定試験2級の合格を目指して

法文学部人文社会学科ドイツ言語文化専攻3回生 澄川千夏

1. 目標

ドイツ語技能検定試験（独検）3級および2級の受験に向けてドイツ語の能力を向上させる。基礎的な文法事項に加えて、語彙力や前置詞を含む熟語の理解などを重点的に強化することで、最終的に独検2級の合格を目指す。

2. 独検の問題構成

3級（2025年6月22日実施）

- ・筆記問題（短文の空欄補充問題5題、長文読解問題3題）
- ・リスニング問題3題（短い会話3問、短い会話と質問の聞き取り3問、会話の聞き取り4問）

2級（2025年12月7日実施）

- ・筆記問題（語彙・文法問題4題、長文読解問題3題）
- ・リスニング問題2題（短めの会話4問、少し長めのスピーチの聞き取り5問）

3. 学習プラン①（4月～独検3級受験まで） 時間配分（計165分/週）

① 苦手な文法事項や問題形式の特定と克服

空欄補充対策（月曜日に約20分）、長文対策（木曜日に約30分）

- ・3週間に検定試験1回分のペースで独検3級の過去問題に取り組む。
- ・その解答結果から、苦手な文法事項や把握できていなかった語彙を特定する。
- ・それらを克服するために文法書や辞書を用いて学習をする。

② 語彙力の強化（単語の反復練習）

- ・1日約15分×週5回（75分/週）
- ・参考書の巻末にある単語欄に赤シートを使って、一問一答方式で練習する。（授業の合間）
- ・過去問題集や参考書に出てきた単語で意味が分からなかったものを自分でリストアップして、赤シートで一問一答方式の練習を行う。（就寝前）

③ リスニング対策

- ・土曜と日曜に約20分ずつ、ドイツ語のポッドキャストやYouTubeを視聴する。

4. 本人による独検3級の受験結果と振り返り

大学の課題や体調によって予定通りできない日もあったが、その分を週末や余裕がある日に回すことで調整ができた。過去問題を解く中で、長文読解に比べて空欄補充の正答率が低かったため、途中から長文対策を予定していた木曜日にも空欄補充の対策に充てた。しかし実際の試験ではやはり空欄補充の正答率があまり良くなかったため、次回は学習方法を変えるべきだと思う。語彙力の強化については、授業の合間や空きコマ、就寝前など日常の隙間時間をうまく利用して学習できた。本番で意味がわからない単語は少しあったが、前後の文章から推測して読むことでうまく対処できた。リスニング対策では、ポッドキャストより、参考書のリスニング問題を聞くほうが効果的だったように思う。また、リスニングは過去問題でも本番の試験でも得点率が高かったため、学習時間の比重を少し軽くして、苦手な空欄補充に費やせばよかったかもしれない。「独検2025夏3級」の受験結果は合格だった。

5. 学習プラン② (6月23日～9月30日) 時間配分 (計195分/週)

2級の過去問題を解いて苦手分野を特定し、その項目について参考書問題の解答を進めていく。

① 語彙力の強化

- ・1日約15分、週5回(75分/週)
- ・3～5級の参考書の巻末単語集を赤シートで隠して一問一答方式の反復練習を行う。
- ・2級問題集で意味が分からなかった単語をリストアップし、赤シートで一問一答方式の反復練習。

② 文法面の対策

- ・月曜日に20分程度、苦手な文法事項について、文法書や辞書を用いて学習する。

③ 読解問題対策

- ・週2回(木曜日・日曜日)に約30分ずつ取り組む。
- ・実際に過去問題を解き進めながら、解答間違いの原因を特定して学習を進める。
- ・間違いの原因(語彙力不足によって文意の理解が不十分だからなのか、文法構造が理解できていなかったためなのか等)に応じて、学習の重点を変える。

④ リスニング対策

- ・水曜と土曜に15～20分程度ずつ、ドイツ語のポッドキャストやYouTubeを視聴する。

6. 学習プラン③ (10月1日～12月6日) 時間配分 (計270分/週)

① 苦手な文法事項や問題形式の特定と克服

- ・月曜日には語彙・文法の空欄補充対策に約30分、木曜日には長文対策に約20分取り組む。
- ・2週間に検定試験1回分のペースで独検2級の過去問題に取り組む。
- ・その解答結果から、苦手な文法事項や把握できていなかった語彙を特定する。
- ・それらを克服するために文法書や辞書を用いて学習をする。

② 語彙力の強化(単語の反復練習)

- ・1日約30分×週5回(150分/週)
- ・参考書の巻末にある単語欄に赤シートを使って、一問一答方式で練習する。(授業の合間)
- ・過去問題集や参考書に出てきた単語で分からなかったものを自分でリストアップして、赤シートで一問一答方式の反復練習を行う。(就寝前)

③ リスニング対策

- ・毎日約10分ずつ、ドイツ語のポッドキャストやYouTubeを視聴する。(70分/週)

7. 本人による独検2級の受験結果と振り返り

独検2級の過去問題を入手するのが遅れてしまい、受験までに2回しか過去問題に取り組むことができなかったが、2回でも傾向はつかめたので、本番でも慌てることなく冷静に解くことができたと思う。文法書や問題集を用いた演習は、月・木に30分・20分ずつの予定だったが、決めた日以外の日にも1日数分は問題演習の時間をとることができたので、良かったと思う。

また語彙力の強化に関しては、寝る前に毎日リストアップした単語を復習していたため、本番も初見の単語以外はある程度理解できるレベルにはなっていたと思う。しかし本番の大問1の語彙問題では、選択肢のほとんどが初見の単語の問題があり、復習ばかりに気を取られて新しい単語を取り入れる数が少なかったのだなと実感した。長文読解問題は、そこまで対策をしていなかったが、大学で精読の授業を受けているため、ある程度単語がわからなくても予測しながら読み進めることができたし、実際長文読解問題の得点率もよかった。リスニングに関しても、自宅学習だけでなくドイツ人教員による「ドイツ語コミュニケーション」の授業のおかげか、まったく聞き取れないということもなく、選択肢を選ぶ

際も確信をもって答えられる問題があったのでよかったと思う。リスニングの自宅学習では、ポッドキャストや You Tube の動画を見て勉強した。特に 2 級の単語とその単語の例文をシャドーイング方式で学べるようなものや、日常会話でよく出てくる慣用表現などを学習できるものを視聴した。独検 2025 冬 2 級 (12 月 7 日実施) の受験結果は合格だった。

8. 使用参考書

- ・ 石崎朝子 (2024) : 独検 5 級・4 級レベル重要単語 1100、語研
- ・ 岡本順治、岡本時子 (2023) : 独検対策 2 級問題集、白水社
- ・ 恒吉良隆 (2023) : 独検対策 4 級・3 級問題集、白水社
- ・ 獨協大学独検対策講座 編 (2021) : 独検 2 級合格講座、三修社
- ・ 森泉 (2022) : しっかり身につくドイツ語トレーニングブック、ベレ出版

学習に使用した書籍▶



9. 今後に向けて

独検 2 級に向けた勉強を通して、語彙や文法の知識だけでなく、長文読解の力も大きく伸ばすことができたと感じている。特に、大学の専攻で研究を進める際、ドイツ語の文献を以前よりもスムーズに読めるようになり、学習の成果を実感した。試験対策として積み重ねた努力が、実際の学びにもつながったことは大きな自信になった。今後は独検準 1 級の合格を目指すとともに、ゲーティンスティテュートの試験にも挑戦したい。また独検準 1 級では二次試験でスピーキングが課されるため、読む力だけでなく、自分の考えを的確に話す力も身に付けていきたい。



独検 3 級 合格証書



独検 2 級 合格証書